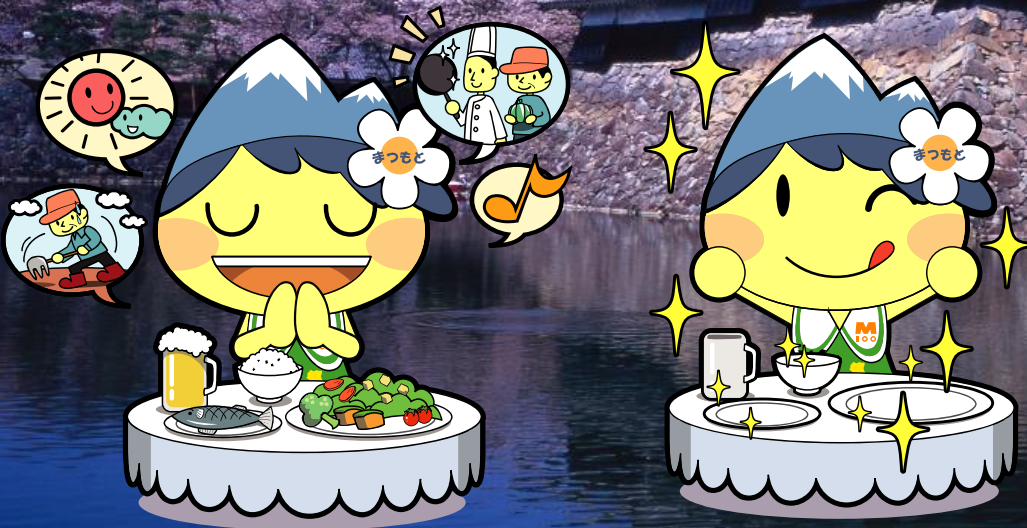




「残さず食べよう！30・10運動」 をはじめとする食品ロス削減の取組

松本市



美しく生きる。



健康寿命延伸都市・松本

◇ 松本市のごみ減量化施策

「もったいない」をキーワードに、3Rの取組みを推進

- ◎ 食品ロス削減事業(平成22年度～)
- ◎ 園児を対象とした参加型の環境教育(平成24年度～)
- ◎ 紙類常設回収場所設置(平成23年度～)
- ◎ 小型家電再資源化事業(平成24年度～)
- ◎ 不用食器リサイクル事業(平成25年度～)
- ◎ 剪定枝等資源化事業(平成25年度～)
- ◎ 松本キッズ・リユースひろば事業(平成27年度～)
- ◎ ECOオフィス松本認定事業(平成27年度～)
- ◎ ごみ減量機器購入費補助事業
- ◎ 生ごみリサイクルのための堆肥化講習会 など

美しく生きる。



健康寿命延伸都市・松本

◇ 食品ロス削減事業

現状の把握

食品ロスの現状把握
及び意識啓発を行った際の効果等を検証

一般家庭生ごみ組成調査

一般家庭意識変化調査

実際の取組み

飲食店での
取組み

飲食店から出る生ごみのうち、約6割はお客様の食べ残し

おそとで

残さず食べよう！30・10運動

プラチナメニューの提供

家庭での
取組み

買い過ぎ
賞味・消費期限切れ
野菜の過剰除去
食べ残し

おうちで

残さず食べよう！30・10運動

園児対象の参加型環境教育

もったいないクッキングレシピ集

美しく生きる。



健康寿命延伸都市・松本

◇ 残さず食べよう！30・10運動 飲食店での食べ残しを減らす取組み

残さず食べよう！30・10運動(平成23年度～)

- ・ 宴会時、乾杯後に席を離れお酒を注ぎ合う
- ・ お開きの際に万歳を行う



- ・ 料理をゆっくり味わう時間(30分間ルール)



お開き前の10分も追加し、「**残さず食べよう！30・10運動**」として実施

- ① 注文の際には、適量を注文しましょう。
- ② **乾杯後30分間**は席を立たず料理を楽しみましょう。
- ③ **お開きの前10分間**は自分の席に戻って、再度料理を楽しみましょう。

美しく生きる。



◇ 残さず食べよう！30・10運動 飲食店での食べ残しを減らす取組み

啓発グッズ



ポケットティッシュ



コースター



ポスター(A3半分)
美しく生きる。

◇ 残さず食べよう！30・10運動 飲食店での食べ残しを減らす取組み

モデル店舗の取組みと効果(平成24年11月～)

- ポスター、ティッシュ、コースターによる啓発グッズの活用
- お店のチラシ、ホームページ等での紹介
- 残さず食べていただく工夫

料理を出すタイミング

(温かい物は温かく、冷たい物は冷たく、ごはん物を出すタイミング等)

メニューの工夫

(白飯から鯛茶漬へ、一口サイズ、骨まで食べれるような調理等)

お客さんへの声かけ



食べ残しが半分程度に減少

ごみの減少、片付けが楽に(人件費、水道料等の削減)

美しく生きる。



◇ プラチナメニュー

飲食店での食べ残しを減らす取組み

入口

食材



調理

料理



食事

出口

食べ残しをなくす

プラチナメニュー

対象：飲食店等

○「量」より「質」を重視したメニューの提供

例えば... コースの品目を8品目から7品目にする代わりに、
値段は変わらず高級食材を提供する。

おそとで

残さず食べよう！30・10運動

対象：お客さん

美しく生きる。



健康寿命延伸都市・松本

◇ 家庭版30・10運動

家庭での食べ残しを減らす取組み

- 期限切れ等による未利用食品等の廃棄を減らすため、日常の中で楽しく取り組めるキャンペーンが有効(H26.3消費者庁普及啓発方針)
- 本市でも手付かずの未利用食品、野菜の可食部が多く廃棄(H25本市調査結果) ⇒ 冷蔵庫内を定期的に点検することの必要性
- 市民からもったいないクッキングの情報を望む声(H25本市調査結果) ⇒ もったいないクッキングで家計にもやさしく
- 環境審議会から30・10運動の家庭版の実施について提案 (H26.3)

「30・10運動」の家庭版を新たに展開

おそとで

飲食店

「残さず食べよう！30・10運動」

- 30分 ⇒ 席を立たず料理を楽しむ
- 10分 ⇒ お開き前に席に戻り料理を食べ切る

おうちで

家庭

「残さず食べよう！30・10運動」

- 30日 ⇒ **冷蔵庫クリーンアップデー**
期限の近い物、残り物を使い切り
冷蔵庫を空に
- 10日 ⇒ **もったいないクッキングデー**
今まで捨てていた野菜の茎等を使う
ことに挑戦

キーワード
「30・10」

覚えやすく、
ゴロも良い

統一感を持たせることで、
食べ物に対する関心を高める

食べ残しを含めた食品ロス全体の削減へ

◇ 園児を対象とした参加型環境教育

家庭での食べ残しを減らす取り組み

キーワード 「参加型・とにかく楽しく」

食べものを作ってくれた人への感謝の心、資源の大切さを忘れない心を育むためには、幼いころから環境に対する意識を高めることが大切であることから、感受性豊かな園児を対象に参加型の環境教育を実施 対象 市立全保育園・幼稚園 年長児(全46園)

○パワーポイントを使ったクイズと説明

「捨てたものはどうなる？」

ごみとして捨てられたものはどうなるのか、分別したものは、新しい物に生まれ変わることを、パワーポイントを使いクイズ形式で説明

「食べ残したものはどうなる？」

食べ残した食品残差は焼却場で燃やされるが、食べたものは体をつくってくれる。心をこめて作ってくれた人への感謝の心が大切ということを説明

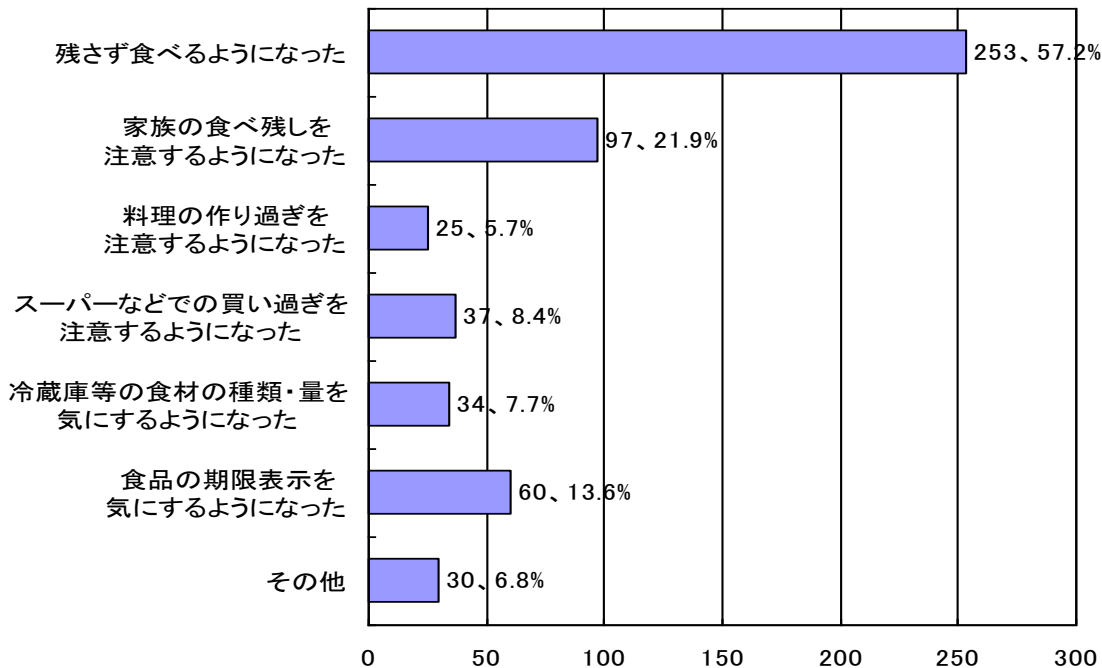
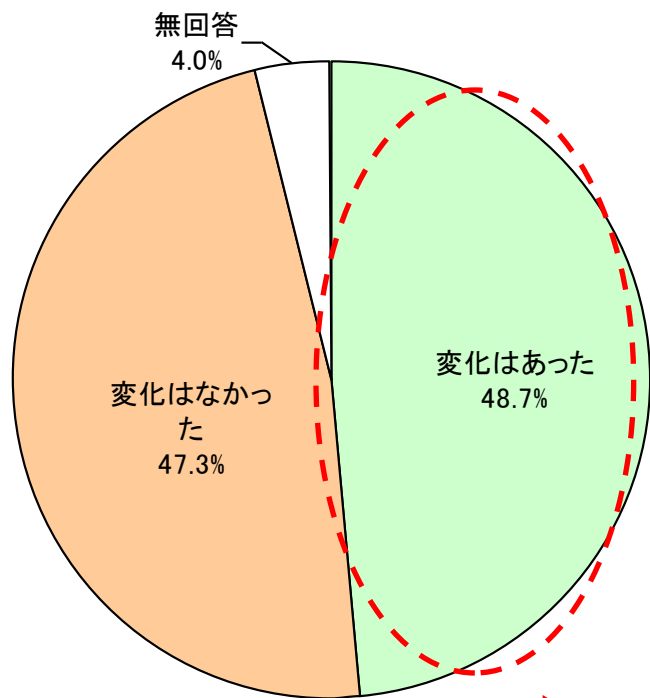


◇ 園児意識変化等調査（H25）

家庭での食べ残しを減らす取組み

環境教育後の園児の意識及び行動の変化の有無

（回答数 907人）



約5割の園児に意識及び行動の変化が見られる

美しく生きる。



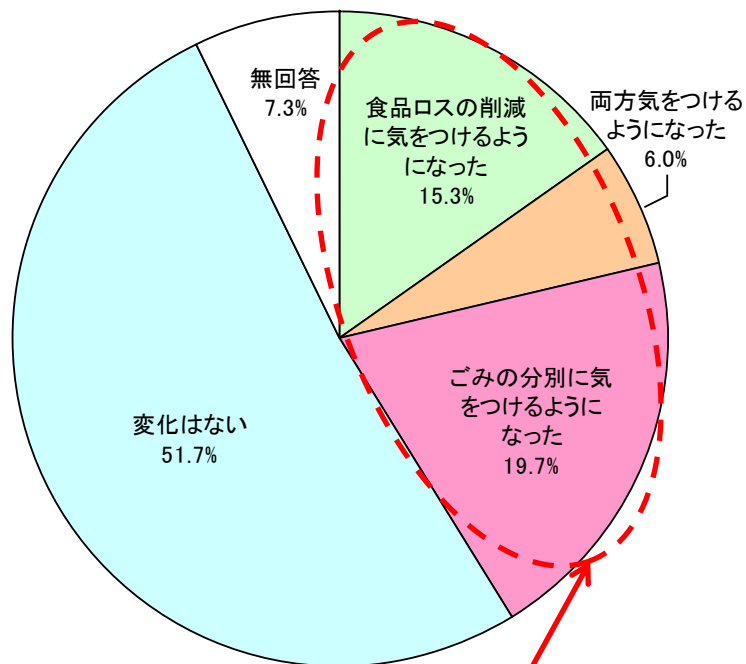
健康寿命延伸都市・松本

◇ 園児意識変化等調査（H25）

家庭での食べ残しを減らす取組み

環境教育を受けた後の保護者の意識及び行動の変化

（回答数 907人）



子どもたちも気をつけようとしているので、皆で家族で少しでも取組もうと意識している。

食べられるのに捨ててしまった食品を子どもが見て、注意された。

葉っぱまで残さず料理するようになった。

子ども、夫が料理を手伝うようになった。

園児の割合よりは低いものの、約4割の保護者に意識及び行動の変化が見られ、園児に対する教育が保護者にも十分伝わっていることがわかる

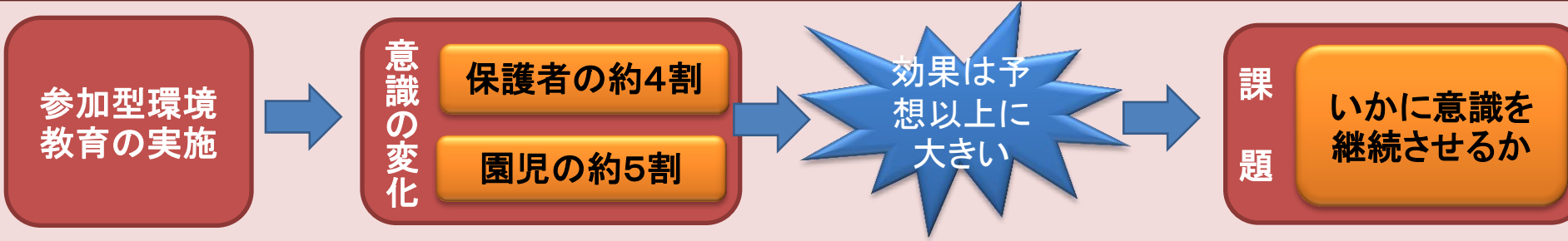
美しく生きる。



健康寿命延伸都市・松本

◇園児を対象とした参加型環境教育の新たな展開

家庭での食べ残しを減らす取組み



継続した意識啓発の必要性

こども用再生ペットエコバック

各家庭で活用

- ・実際にペットボトルが生まれかわった物を使うことでリサイクルの心を継続
- ・保護者と一緒に行き、食品を入れることで食べ物を大切にする心を継続

園児向け紙芝居

各園で活用

- ・園で常時活用することで、参加型環境教育の効果をあげるとともに、変化した意識を継続

環境教育の効果を継続

◇ 園児意識変化等調査（H26）

家庭での食べ残しを減らす取組み

意識及び行動の変化の割合

	H25	H26	比較
園児	48.7%	58.4%	<u>+9.7ポイント</u>
保護者	41.0%	62.1%	<u>+21.1ポイント</u>



エコバック使用の有無による比較

	使用なし	使用あり	比較
園児	51.7%	67.2%	<u>+15.5ポイント</u>
保護者	51.2%	69.4%	<u>+18.2ポイント</u>

美しく生きる。



健康寿命延伸都市・松本

◇食品ロス削減啓発用紙芝居作成プロジェクト

家庭での食べ残しを減らす取り組み

紙芝居のコンセプト

「もったいない」の心

食べ物の大切さ

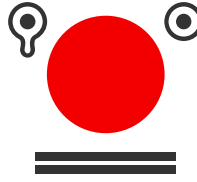


「もったいない」の心



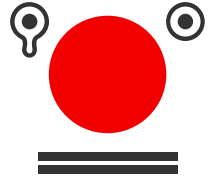
食べ残し等
食品ロス削減

「アルプちゃん」と「ろすのん」のコラボ



「アルプちゃん」と「ろすのん」の両方が登場する内容で作成

消費者庁等を通じて全国発信



「アルプちゃん」をご当地キャラに変えることで全国で活用

<プロジェクトメンバー>

- 降旗まどか (里山辺保育園)
- 市川美里 (波田ひがし保育園)
- 小林あゆみ (環境政策課)
- 菅原千史 (さくら保育園)
- 野村佳菜 (白板保育園)

<アドバイス>

竹迫祐子(安曇野ちひろ美術館副館長)



H26.7~H27.1の間に計11回実施



市内全保育園・幼稚園、図書館、こどもプラザ等に配布
 データは、松本市及び消費者庁のホームページに掲載、自由にダウンロード可能
<http://www.city.matsumoto.nagano.jp/shisei/kankyojoho/osirase/foodloss-kamishibai.html>

◇ 松本大学との連携

家庭での食べ残しを減らす取組み

家庭からの
食品ロス

主には...

過剰除去 → まだ食べられる茎や皮などを多く
取り除いてしまったもの

食べ残し → 食べ切れずに食べ残してしまったもの



松本大学地域づくり考房「ゆめ」
チーム「◎いただきます!!」



ブロッコリーの
茎のきんぴら

もったいないクッキングレシピの開発

◎丸ごと料理

食材を無駄なくまるごと使ったレシピ

◎リメイク料理

余った料理を作り変えるレシピ

松本大学

×

松本市

学生の柔軟な発想

食品ロスに関する情報提供
レシピの製本

◇ H27年度事業

飲食店での取組み

30・10運動(飲食店版)の推進

まずは、食べきりを行うことを推進
市民に30・10運動を知ってもらい、実践して
もらうため、積極的に宣伝を行う

周知

啓発用ポケットティッシュ

商工会議所折込チラシ

実践

啓発用ペーパーコスター

登録店制度
の検討

プラチナメニュー提供店の募集

プラチナメニュー提供店を募集し、協力店は市の公式ホームページ等で紹介

持ち帰りに係る研究

持ち帰りに係る実態調査を行うとともに、課題を整理

家庭での取組み

30・10運動(家庭版)の推進

これまでの30・10運動と併せ、食べ物に対
する関心を高め、食品ロス全体の削減を目
指す

適切な
情報提供

マグネット付ハンドブック

もったいないクッキングレシピ集

園児環境教育の継続

園児対象の環境教育を継続
するとともに、変化した意識を
継続させるための取組みを実施

こども用エコバッグ ⇒ 家庭で活用

実際にペットボトルで再生したエコバッグを配布、自ら使うことでリサイクル及び食べ物の大切さを身近に捉えさせ意識を継続。

紙芝居 ⇒ 園で活用

園児が毎日見る機会のある紙芝居により意識を継続。紙芝居は、「アルプちゃん」と「ろすのん」も登場。アルプちゃんを全国のご当地キャラに入れ変えることで全国でも使用可

園での食べ残し量の把握

意識変化調査に加え、園における食べ残し量を環境教育実施の前後で測定し効果を検証

環境省モデル事業の実施(学校給食の実施に伴い発生する廃棄物の3R促進事業)

学校給食における食べ残し量を環境教育実施の前後で測定し効果を検証

園と学校の結
果を合わせ
評価・検証